

題：『鍵がない！』～物盗られ妄想～

配役：利用者A（認知症の方）

利用者B・C・D（大広間利用者）

スタッフ

《ナレーション》

ここは「晴嵐かなざわ」大広間です。利用者のAさんが、なにやら探し物をしています。

【Aさん】「あれ、おかしいな。ここに置いていた鍵がないぞ」

【Bさん】「どうした？」

【Aさん】「ここに鍵を置いていたけど、なくなっているんだよ。誰か間違えて持っていったな！」

【Bさん】「なにが誰か間違えて持っていっただよ。この前も鍵がないってさんざん大騒ぎして、結局自分のポケットに入ってたじゃないか！」

【Aさん】「でたらめいうなよ。鍵を無くしたことなんか1回もないぞ」 ←言い合いになる

《周りからのヤジ》

【Cさん】「またなんか無くしたみたいだな。最近よく無くしてるんだよ」

【Dさん】「そのたびに周りが疑われるんだからたまったもんじゃないよ！」

【Cさん】「しょうがねえよ。ボケてんだから」(笑)

【Dさん】「そんなに大事なものなら首から下げとけ！」(笑) ←周りに聞こえるように

《スタッフ登場》

【スタッフ】「どうしましたか？」

【Aさん】「鍵が誰かに持っていかれたんだよ。警察呼んでくれ。」

【スタッフ】「またですか？これで今月5回目ですよ。この前は携帯電話で、その前は利用証で・・・
しっかりして下さいよ。」

【Aさん】「なんだ、しっかりしてくれって。俺はしっかりしてるよ。あんたも俺が無くしたって疑うのか。」

【スタッフ】「疑うとかじゃなくて事実をいっているんですよ！こっちも毎回疑われるのは迷惑なんです。」

【Aさん】「なんだと！人を疑いやがって。こんなところ2度と来るか！」

《ナレーション》

さあ、Aさんは怒って帰ってしまいました。どうしてこうなってしまったのでしょうか？みなさんでしたら、どのように対応しますか？望ましい対応について話し合ってください。

◎Bさんやスタッフの対応、周りからのヤジへの対処について検討する。